



Oohiradai Newspaper

大平台だより

神崎町立米沢小学校
2026年6月22日第10号 名上健一

— ほんき やるき げんき のある米沢っ子 —

いじめゼロ宣言集会 いじめのない学校を目指して



児童会の児童による 4つの勇気の発表

6月12日（金）、いじめゼロ宣言集会を、児童会主催で行いました。

最初に、児童会の役員が「やめる勇気」「とめる勇気」「はなす勇気」「みとめる勇気」4つの勇気について説明を行いました。その後、各学年のいじめゼロ宣言スローガンを発表しました。その後階段の踊り場の掲示板に学年ごとのスローガンを掲示しました。

この集会を通じて、米沢小学校では、いじめゼロを宣言し、「安心安全な学校づくり」を子どもたちと共に築き上げていきたいと思えます。

なお、各学年のスローガンは以下の通りです。

学年	スローガン
1	みんな たいせつ だいじょうぶ
2	あい手の 気もちから 目をそらさないようにしよう
3	一人にしないよ あったか言葉で みんななかよし
4	みんなで仲よく けんかなしの クラスにしよう
5	笑顔で 仲よく 協力しよう
6	いじめなし みんなちがって みんないい

デジタル社会の光と影: SNS の恐ろしさ

～香取警察署管内学校警察連絡委員会 第1回研修会より～

6月16日(火)、香取警察署管内学校警察連絡委員会の第1回研修会が開催されました。千葉県警察サイバー犯罪対策課の署員の方を講師にお招きし、スマートフォンの危険性についてご講演いただきました。

現在、小学生のスマホ所持率は年々高まっています。決して「対岸の火事」ではありません。ぜひご家庭で話し合い、お子様が危険から身を守るようにしていきましょう。

<講演で示された「6つのリスク」>

1. ID・パスワードの流出・乗っ取り
 - ・偽の無料Wi-Fiや、悪質な広告バナー、不審なDMのリンクに要注意。
2. AIの進化と「ボイスフィッシング」
 - ・たった「5秒の音声」があれば、生成AIで本人の声を複製できる時代です。
3. 位置情報アプリの罠
 - ・常時接続やリアルタイム投稿は危険です。「自分は有名人じゃないから」「これくらい大丈夫」という油断が狙われます。
4. SNSトラブルからリアルな事件へ
 - ・ネット上のいじめや悪口は「言葉のナイフ」です。書類送検されるケースもあり、いじめは立派な「傷害・暴行事件」になります。
5. デジタルタトゥー（消えない脅威）
 - ・一度ネットに流出した画像や動画は永遠に消せません。現在はフェイク動画も簡単に作られてしまいます。
6. 闇バイト・トクリュウ（匿名流動型犯罪グループ）
 - ・応募時に身分証を送らせ、それを元に家族まで脅すのが手口です。「脅されてもすぐに警察へ行く」ことが鉄則です。

<保護者ができるポイント>

- ・家庭内のルール作り : 子供の成長に合わせて、段階的にルールを見直しましょう。
- ・相談しやすい環境 : 困った時にすぐ親に言える関係性を作りましょう。
- ・画面チェックの習慣化 : 親がスマホの画面を閲覧することへの抵抗感をなくしておきましょう。

<親子で約束する「スマホの絶対ルール」>

- ・写真・動画
 - 自分や友達の写真を勝手に「撮らない」「使わない」「送らない」。
 - 勝手に画像を合成して投稿しない。
- ・言葉・人間関係
 - ネット上でひどい言葉を使わない、書かない、拡散しない。
 - ネットで知り合った人とは絶対に会わない。連絡先を安易に交換しない。
- ・もしもの時
 - トラブルになりそうな内容はスクリーンショットして大人に相談する。
 - 証拠となる履歴(ログ)は絶対に消さない。
- ・お家のルール
 - 使用時間を守る。親に隠れて使わない。